

令和3年度 病院相互訪問チェックリスト

施設名: 国立病院機構東京病院

【別紙 2】

課題名 最終目標	Plan		Do 実施状況	Check		Assessment 改善策
	なにを	どのように		確認日	達成状況	
A 共通テーマ 「がん相談の質の 向上」	I 患者の意思決定への支援	①アドバンスド・ケア・プランニング(ACP)を活用した意思決定支援	実施中	12/21	50%	パンフレット「私の医療に関する希望」、事前指示書の作成は完了。今後、周知・活用を図っていく。
		②緩和ケア面談での相談員、緩和ケア認定看護師の同席	実施中	12/21	95%	院内の面談を継続しつつ、他院からの面談受け入れの更なる促進を図っていく。
		③緩和ケア病棟からの在宅復帰率 15%の維持	実施中	12/21	100%	今後も地域との連携を図り、引き続き 15%を維持していく。
	II 診断時からのがん相談の活用	①外来(化学療法室等)、病棟看護師から退院調整看護師、MSW への患者要望の伝達	実施中	12/21	90%	相談の要望がある患者への退院調整看護師、MSW の同席を 100%まで高める。
		②緩和ケアチームの介入割合の増加	実施中	12/21	95%	入院患者への介入はほぼ実施できているが、今後は外来患者への介入を増やしていく。
	III	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	

評価施設名: ○○病院 / 評価(訪問)日: 2021年12月23日 / 実施方法: 書面開催

評価	A-I 良	A-II 優	A-III 選択	B-I 選択	B-II 選択	B-III 選択	C-I 選択	C-II 選択	C-III 選択
総評	<p>・ACP に関して、パンフレットや事前指示書といったツールを作成し、今後運用を検討されるということで、具体的な体制整備が行われていると思いました。ツールに関しては、当院でも今後検討していくにあたり大変参考になりました。今後の貴院での運用方法などもご教授いただければ幸いです。</p> <p>・緩和ケア面談時に、多職種で関わる体制づくりが行われており、素晴らしいと思いました。</p> <p>・緩和ケア病棟を最後の療養の場という慣習に捉われず、入院後も患者・家族の意向を確認しながら、療養場所の選択支援が行われていることは、患者・家族にとって精神的な支えになると感じました。</p> <p>・緩和ケアチームの介入に関しては、入院患者に対する支援体制が確立していることがうかがえました。今後、外来患者への介入も拡充していくということで、更に適時適切に緩和ケアが提供できる体制が構築されると感じました。</p>								